

番号	24	水害復旧工事記念碑		
所在地	唐津市相知町伊岐佐			
災害別	昭和２３年（１９４８）水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和２５年８月５日	
特記事項	昭和２３年７月、昭和２４年８月水害の記録あり			



昭和23年7月、9月、24年8月の水害は松浦川と伊岐佐川の合流地点にあるこの地域に大きな被害をもたらした。特に、昭和23年9月11日から12日にかけての水害は、「未曾有の大洪水」と記され、その被害の詳細が碑文に刻まれている。碑は、その後の復旧工事の完成を記念して建てられた。

「昭和廿三年七月全九月並翌廿四年八月の大洪水は各地に惨害を与へた 殊に九月の洪水は未曾有の大洪水で下幸元二戸を除き全区全戸床上三尺以上浸水した 当区に於いても橋梁の流失道路の破壊井樋水路の決潰等幾多の大損害を蒙った 戦後の疲弊に喘ぐ区民にとって此の災厄は深甚な痛手で茫然自失の態であったが之等諸施設の復旧は当区死活の問題であり茲に区民一同蹶



国土地理院電子国土 Web



起經濟難資材難勞力難其他あらゆる障礙を排して復旧新設の計画を樹て昭和廿三年度に中平道路二間竹の下道路二間落合橋並幸元縣道二間を全廿四年度に友田桃原両井堰友田橋並八反田縣道を逐次着手完成した 其間駐在員を中心に各委員部落民一致協力大事業の完遂に当り一方東松浦地方事務所の懇切な指導と甚大な援助の下に三年に亘る大工事の完成を見た区民一同歓喜にたえず茲に碑を建て当局の絶大なる御支援を深謝しその完了を祝い永久に記念する次第である」

（台座）相知町長以下、役員等氏名（略）

現在、伊岐佐川に合流する左伊岐佐川上流に、治水調節、既得取水の安定化、河川環境の保全等及び水道水源の確保を図るため多目的ダムとして伊岐佐ダム（昭和54年6月竣工）が建設されている。



伊岐佐ダム



伊岐佐川（上流方向）